

KCHIKYO
市響

室内楽の夕べ

市川交響楽団員による

室内楽コンサート

1976.4.25

P.M. 6:30

市川市民会館

主催 市川市教育委員会
千葉県音楽振興協議会
千葉交響楽団協会
後援 京成電鉄株式会社

PROGRAM

No. 110

ご あ い さ つ

私達は日頃主としてフル編成によるオーケストラ作品を演奏しておりますが、それ以外の分野のもの、すなわち室内管弦楽や弦楽合奏、管楽合奏などのいわゆる室内楽についても関心事をもち、自分達で研鑽を重ねると共に皆様にもその成果をおき、いたゞきたく、昨年室内楽の夕べを年1回はもつよう企画して参りました。時間や会場が思うようにまかせず、必ずしも十分な練習ができたとは思いませんが、定期演奏会同様一生懸命努めておりますので、どうか最後までごゆっくりおき、下さい。

企画担当 牧野 一男

金 管 合 奏

市響金管合奏団

第7 旋法によるカンツォーン……………ショパンニ・ガブリエリ
ペリのファンファーレ……………ポール・デュカス

クラリネット二重奏

クラリネット 池田 八十二
永田 豊

二重協奏曲……………J. プランツァー

弦 楽 四 重 奏

第一バイオリン 松山 和子
第二バイオリン 二宮 伸雄
ビオラ 横田 行雄
チェロ 福原 耕三

弦楽四重奏曲第1番 ニ短調……………アリアーガ

休 憩

木 管 四 重 奏

フルート 竹中 靖
クラリネット 池田 八十二
バズーン 米原 光夫
ホルン 越塚 康史

木管四重奏曲第4番 変ロ長調……………ロッシーニ

バイオリンと2本のフルート及び弦楽合奏

バイオリン 二宮 伸雄
フルート 木村 純一、柴田 重信
市響室内合奏団
指揮 金子 建志

ブランデンブルグ協奏曲第4番……………J.S.バッハ

曲 目 解 説

第7旋法によるカンツォーン

ジョバンニ・ガブリエリ

この曲は、ジョバンニ・ガブリエリが1600年ごろに教会で行なわれる義式の中で演奏される音楽として作曲しました。曲の特長としては冒頭に似かよった旋律とリズムのテーマを用いそれが左右2つのグループに分れて演奏され速度の変化(2/4と3/4)が多いことが上げられます。

ペリのファンファーレ

ポール・デュカス

ポール・デュカス(1865~1935)はけんらんたるオーケストレーションをもつ交響詩《魔法使いの弟子》の作曲者として最もよく知られているようである。《ラ・ペリのためのファンファーレ》Fanfare pour La Periを、こんなに効果的にしているのも、そのオーケストレーションの才腕によるものである。まったくふつうのオーケストラの金管編成(トランペット3、ホルン4、トロンボーン3、テューバ)を用いて、デュカスはその2倍の編成のアンサンブルにも劣らないソノリティ(ひびき)を生みだしている。この《ファンファーレ》は1912年にパリのシャトレ劇場で初演された《舞踊詩 Poeme dance》(つまりバレエ形式による交響詩)の幕開けとして書かれた。

(津田 雄二郎)

クラリネットのための二重協奏曲

J. プランツァー

この作品の初版本タイトルには、ハイドンの弟子プランツァーと署名してあり、まさに軽快なハイドンスタイルである。2本のクラリネットは曲名のように、どちらが主、どちらが従というのではなく互角に協奏しあっている。また、2本のメロディの対位法的な組合せというスタイルをほとんどとっておらず、その時々伴奏を受持っているどちらかの奏者が、アルベルティバス、つまりピアノ曲の左手に用いられるようなドソミソ形の音形で旋律に和声にあたえており、クラリネットがそのような音形を急速に演奏できる楽器であるという点が生かされている。

(永田 豊)

弦楽四重奏曲第一番 二短調

アリアーガ

フワン・クリソストモ・アリアーガは、1806年スペインに生まれ、その天与の音楽的才能により、幼少の頃から作曲の筆をとり、多くの作品を発表したが、20才の若さで世を去り、スペインのモーツァルトといわれている。この曲は彼が16才のときの作品である。

第一楽章はアレグロのソナタ形式で、やや暗い予感を秘めた力強い第一主題に始まり、これに心の強い渴望を表現するような第二主題が加わり、劇的にかみ合って進行していく。第二楽章のアダージョ・コン・エスプレシオーネは、ヴァイオリンとチェロの対話であるが、ここには若者の無限に広がる夢と現実との対比が浮彫りにされているかのようなのである。第三楽章は一転して快活なスケルツォ風のメヌエットとなる。トリオはややスペイン舞曲風の趣きをもった優美な旋律のものである。終楽章は短いアダージョの導入部につづいて、8分の6拍子の清れつな美しさを備えたアレグレットの主部に入り、若々しい心の伸びを存分に歌った後、静かなコーダを経て終る。演奏時間は、約30分を要する。

(福原 耕三)



フルート／クラリネット／ホルン／バスーンのための

木管四重奏曲第四番 変ロ長調

ロッシーニ

第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

第2楽章 アンダンテ

第3楽章 ロンドーアレグレット

ロッシーニ(1792~1868)は「セヴィリアの理髪師」「絹のはしご」「泥棒かささぎ」「ウィリアム・テル」など数々のオペラを1810年代から1820年代にかけて次々と生み出しました。このロッシーニの創作活動はオペラ「ウィリアム・テル」を最後にほとんど途絶えてしまい、そのあとでは有名な「スターバット・マーテル」など、いくつかの宗教的な作品や、小規模な器楽作品などが作曲されただけにすぎないことは、よく知られております。一方ロッシーニが、オペラ作曲家としてデビューする以前の10才代の作品もあまり多く知られていませんが、12才の時に作られた6曲の弦楽のためのソナタはロッシーニが幼少の頃からなみなみならぬ才能を持っていたことを伝えています。これらの作品はもとは二つのヴァイオリンとチェロ、それにコントラバスという変則的な弦楽四重奏のために書かれていたものですが、今日では弦楽合奏や、管楽器のアンサンブルその他、様々な形で演奏されています。ところで原曲からこの管楽四重奏への編曲が作曲者自身の手になるものかどうかは今日ではつまびらかではありませんが、それぞれの楽器はほとんど対等に、フルート、クラリネット、ホルン、バスーンの順でおのおの輝かしい軽妙な旋律線を受持って互に活躍します。

(竹中 靖)

ブランデンブルグ協奏曲第4番

J. S. バッハ

バッハのいわゆるケーテン時代と称される壮年時代は多くの器楽作品を生み出した時期である。音楽好きの貴族ブランデンブルグ公がある時バッハの名声を聞きおよび自分の楽団の為の作品として依頼した結果生まれたこの協奏曲もそのような器楽作品の代表作として名高い。

全部で5曲からできているが、協奏曲とは言っても単独の独奏者とはなく、コンチェルティーノと称する独奏楽器群でリピーノと称するいわば伴奏部からなるコンチェルトグロッソの形式をとっているが、編成は曲毎に違っている。

この4番はコンチェルティーノとしてヴァイオリンと2本のフルート、リピーノとしては弦楽合奏とチェンバロが加わっている。三つの楽章から成っているが、いずれもすぐれた対位法的手法で手固くまとめられており、バロック協奏曲中の傑作である。

(牧野一男)

本八幡南口
長崎屋デパート内に

文具・事務用品
額と画材の

せがわ堂

市川駅南口アーケード 0473(22)0652

市川駅北口東通り(画材) (22)1812

長崎屋本八幡店2F(文・画) (33)1311内41

京成千葉店(文・画) 0472(22)0573

4人のトロンボーン吹きによる

ユニークコンサート

出演 東京芸術大学トロンボーンアンサンブル
研究会 (津田、栗田、亀谷、芦田)

76年6月13日(日) 6:30開演

市川市民会館 入場料350円

連絡先 津田雄二郎

TEL 0473(35)2290

千葉交響楽団協会

当協会は千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体で、然も音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニクな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブでもありません。自分達の喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体であります。現在ある楽団は、25年の歴史ある（揺らん期を入れると31年）市川交響楽団（この楽団所属には市川交響吹奏楽団と市川混声合唱団、市響ジュニアオーケストラがあります。）と習志野フィルハーモニー管弦楽団、銚子市交響楽団、前原ウインドミルオーケストラ、千葉市管弦楽団とです。

名誉会長	川上 紀一			
会長	泰道 照山			
理事長	村上 正治			
理事	古賀 米吉	渋谷 寿光	鈴木忠兵衛	川崎 千春
	村岡 元一	今井 正	岸本 義一	杉本郁太郎
監事	富田 英夫	宇津木 勇		
評議員	飯島藤十郎	大久保康雄	泰道 三八	他23名
顧問	岩城 長保	臼井 荘一	木川田一隆	大橋 和夫
	坂齋梅三郎	友納 武人	旗 栄吉	村岡 信一
	三木 春逸	渡辺一太郎	他23名	
参与	伊藤恒太郎	大木 正興	他110名	
事務局長	熊谷 信昭	事務局次長	伊藤 順夫	
相談役	村上 信乃			

会 員 募 集

当協会の社会教育活動を円滑にして下さる協力会員の事で、会員は案内通知を受けますし当協会主催の行事には入場無料、特別演奏会は半額です。

維持会員 年 1,000円 賛助会員 年 5,000円以上

団 員 募 集

入会金 500円 会費月 200円

各楽団を兼ねる事が出来る

市川交響楽団練習

市川小学校講堂（国道沿い）
市川駅北口より国道西へ徒歩4分
京成真間駅西口より徒歩8分
毎土曜日午後6時20分

市川交響吹奏楽団練習

宮田小学校講堂（北越通り）
市川駅南口より東へ徒歩3分
京成真間駅南口より徒歩8分
毎金曜日午後6時30分

市川混声合唱団練習

自然幼稚園（消防署本部裏）
市川駅北口より国道東へ徒歩3分
京成真間駅東口より徒歩2分
毎木曜日午後7時
技量は問題にしません

市響ジュニアオーケストラ練習

熊谷ビル三階
市川駅前南口アーケード横
毎日曜日午後1時30分

事務局 市川市新田2-33-10

TEL 0473(23)1619

市響25周年記念シリーズ特別コンサート

昭和51年7月18日(日) 午後6時半 市川市民会館ホールで

第112回市響「交響楽の夕べ」 外山 滋 客演
指揮 金子建志

バイオリン協奏曲……………ブラームス

交響曲第29番……………モーツァルト

組曲「道化師」……………ガバレフスキ

入場料600円

◎本日会場受付にてチケットを発売しております。

昭和51年10月10日(日) 午後2時 千葉県文化会館大ホールで

第114回市響「安川加寿子と市川交響楽団」

指揮 金子建志

ピアノ協奏曲……………ショパン

交響曲第7番……………ブルックナー

入場料 600円

~~~~~ 市 響 最 近 の 活 動 ~~~~~

- | | | | |
|-------|--------|------------------------|------------|
| 昭和51年 | 1. 15. | 市川市成人式「祝賀演奏」 | 於市川市体育センター |
| | 2. | 少年少女のためのコンサート | 於宮田小学校 |
| | 3. 7 | 県民コンサート「交響楽の集い」 | 於佐倉中学校 |
| | 3. 14 | 県民コンサート「交響楽の集い」 | 於八日市場市公民館 |
| | 3. 21 | 市内中学生吹奏楽団のための講習演奏 | 於市川八中 |
| | 4. 18 | 校歌制定記念コンサート | 於勝田台小 |
| | 4. 25 | 第110回市響「室内楽の夕べ」 | 於市川市民会館 |
| | 5. 5 | 第111回市響「市響ジュニア・コンサート」 | 於市川市民会館 |
| | 6. 27 | 県民コンサート | 於白井中 |
| | 7. 18 | 25周年記念コンサート | |
| | | 第112回市響「交響楽の夕べ」外山滋客演 | 於市川市民会館 |
| | 8. 22 | 第113回市響「納涼コンサート」 | 於市川市民会館 |
| | 10. 10 | 第114回市響「安川加寿子と市川交響楽団」 | 於千葉県文化会館 |
| | 11. 23 | 第115回市響「合唱の集い」 | 於市川市民会館 |
| | 12. 5 | 第116回市響「ファミリー交響楽コンサート」 | 於市川市民会館 |
| 昭和52年 | 1. 15 | 市川市成人式「祝賀演奏」 | 於市川市体育センター |
| | 2. | 県民コンサート | 未定 |
| | 3. 20. | 第117回市響「室内楽の夕べ」 | 於市川市民会館 |

生 徒 募 集

熊 谷 音 楽 教 室

指導科目 バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス
ピアノ、エレクトーン

曾 谷 教 室 (火) 市川市曾谷 4-1-23 TEL 0473(72)2366

東 国 分 教 室 (土) // 東国分 2-1-41 TEL 0473(72)2366

市川駅南口教室(木) // 市川南 1-10-18 TEL 0473(24)3685

(市響、市響ジュニアオーケストラのメンバーに推薦いたします)